

製品名: ABCD1 / ALD (12L9) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe06414**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50
分子量	83kDa

抗原情報

遺伝子名	ABCD1
別名	ABC42; Abcd1; ALD; Aldgh; ALDP; AMN;
遺伝子 ID	215.0
SwissProt ID	P33897
免疫原	ヒト ABCD1 の組み換えタンパク質

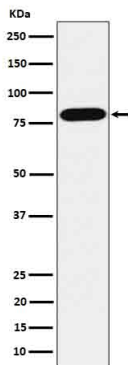
背景

おそらく輸送体。ヌクレオチド結合フォールドは、ATPase 活性を持つ ATP 結合サブユニットとして機能する。ATP 結合カセット (ABC) ファミリーの ATP 依存性輸送体は、極長鎖脂肪酸 (VLCFA) -CoA を細胞質からペルオキシソーム腔へ輸送する役割を担う (PubMed:11248239, PubMed:15682271, PubMed:16946495, PubMed:18757502, PubMed:21145416, PubMed:23671276, PubMed:29397936, PubMed:33500543)。ATP 依存性トランスポーター活性に加え、脂肪酸アシル CoA チオエステラーゼ活性 (ACOT) も有し、VLCFA-CoA を VLCFA に加水分解してから ATP 依存性ペルオキシソームに輸送します。ACOT 活性はこの輸送プロセスにおいて不可欠です (PubMed:33500543, PubMed:29397936)。したがって、VLCFA とエネルギー代謝の調節、具体的には β 酸化による脂肪酸の分解と生合成、ミトコンドリア機能、ミクロソーム脂肪酸伸長において役割を果たします (PubMed:23671276, PubMed:21145416)。ミクロソーム脂肪酸伸長活性を負に制御することで活性ミエリン形成期を制御するなど、いくつかのプロセスに関与しており、軸索とミエリンの維持にも役割を果たしている可能性があります。ミトコンドリアの酸化的リン酸化や脱分極といったミトコンドリア機能を制御することで、酸化ストレスに対する細胞応答も制御します。そして最後に、VLCFA のペルオキシソーム β 酸化を正に制御することで炎症反応を制御します (類似性による)。

研究分野

ABC トランスポーター;

画像データ



HepG2 細胞溶解物中の ABCD1 / ALD のウェスタン プロット分析。